

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

第二回本会議

令和5年6月14日(水)

(議事次第)

議題

- 1 学内ベデストリアンデッキの補修に関する要望について
- 2 企画戦略特別委員会の設置について
- 3 令和6年度学園祭開催に関する要請について
- 4 新入生歓迎特別委員会の設置について

タイムテーブル

当日の時刻	予定した日程	当初予定
18:30	開会	
18:30~18:37	出欠確認・資料確認	10分間
18:37~19:02	議題1	10分間
19:02~19:09	表決	10分間
19:09~19:33	議題2	10分間
19:33~19:35	表決	10分間
19:35~19:42	議題3	10分間
19:42~19:45	表決	10分間
19:45~19:48	議題4	10分間
19:48~19:51	表決	10分間
19:51~20:05	諸連絡	5分間
20:05	散会	

出席者

学類等代表者 53名 (うち遅刻1名、早退1名) 詳細省略

参考人 沼田 航

資料一覧

- ・議事次第

議題1「学内ペDESTリアンデッキの補修に関する要望について」

- ・議案書「学内ペDESTリアンデッキの補修に関する要望について」
…P23002-00
 - ・「ペDESTリアンデッキの補修に関する要望書」
…P23002-01
 - ・添付資料「ペDESTリアンデッキの保全のための実地調査の報告」
…P23002-02
 - ・別紙「ペDESTリアンデッキの危険部詳細」
…P23002-03

議題2「企画戦略特別委員会の設置について」

- ・議案書「企画戦略特別委員会の設置について」
…P23003-00

議題3「令和6年度学園祭に関する要請について」

- ・議案書「令和6年度学園祭に関する要請について」
…P23004-00
 - ・「令和6年度学園祭開催に関する要請」
…P23004-01

議題4「新入生歓迎特別委員会の設置について」

- ・議案書「新入生歓迎特別委員会の設置について」
…P23005-00

以下、議事録

開会

○林 凜太郎（議長）

これより、令和5年度第二回本会議を開会します。

出欠確認・資料確認

○林 凜太郎（議長）

出席者を確認します。慣例に基づき、読み上げられた学類に在籍する代表者の挙手を確認することで確認します。

また、円滑な議事進行のため、ご参加の皆様はこの間に随時資料を確認してください。

出席確認の詳細は省略。

○林 凜太郎（議長）

学类等代表者の出席者は53名です。本会議の定足数を満たしたことを確認しました。

議題

○林 凜太郎（議長）

議事に移ります。議事1「学内ペDESTリアンデッキの補修に関する要望」についてです。

生活環境委員会からお願いします。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

教育生活環境調査にて、ペDESTリアンデッキが危険であるという旨の意見が頻繁に寄せられているため、危険個所の実地踏査を調査委員会と共に行いました。

その結果、危険な個所が20箇所以上発見されましたので、そちらの補修に関する要望を副学長へ提出する予定です。

実際に提出するものは資料P23002-01となります。

調査方法等については資料P23002-02に記載している通りです。

生活環境委員会および調査委員会にてメジャーやカメラを用いて調査を行い、危険部の詳細をまとめました。危険部詳細についてはP23002-03の通りです。

以上について審議をお願い致します。

○林 凜太郎（議長）

質問の時間を取ります。その際の注意点を2点お知らせします。

1点目です。発言を求める際には挙手をしてください。係がマイクをお渡しし、発言を許可します。冒頭に、お名前と合わせて学類、学年をお知らせください。

2点目です。議事次第に従い、質問は19時42分までとします。

質問を求める方は挙手をしてください。

以下、質問の許可にまつわる手続きは省略。

○桑原 侑（総合学域群）

今回取り上げられた場所以外にも、大学構内には危険な場所は多々あると思いますが、そのような箇所を学生から指摘される可能性は否定できないと思います。

もし、学生から意見が寄せられた場合、全代会ないしは生活環境委員会としてどのように対応をしていく予定でしょうか。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

今回ペDESTリアンデッキを取り上げたのは学生の利用頻度が高いためです。

今後も、危険な箇所に対して学生から要望があれば調査を行い、要望を提出する予定です。

○澁谷 耕大（地球学類）

資料P23002-03にて危険度の判定がなされていますが、この危険の判定はどのような定義で為されているのかについて、ご教示ください。

危険度の判定基準について合理的な説明があるのであれば、合わせて大学側に説明をした方が良いでしょう。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

溝の深さや、自転車のタイヤの巻き込まれ具合に基づき判断をしました。

また、要望書に付け加えるという点については、そのように資料を訂正いたします。

○畑 友一郎（知識情報・図書館学類）

危険度について、「かなり高い・高い・比較的高い」と設定されていますが、危険度の差が不明瞭になっています。「高中低」や「大中小」のように記載する方が分かりやすいのではないのでしょうか。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

そのように訂正いたします。

○竹之内 未来（化学類）

資料 P22002-03 中の石の広場の階段に関する記述について、石の広場の階段はいくつかあるので、具体的に何処の階段であるのか明記した方がよいかと思えます。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

そのように訂正いたします。

○篠崎 健太（日本語・日本文化学類）

資料 P23002-03 について、アスファルト漏れの場所がどこか分かりづらいので、具体的に記載した方が宜しいかと思えます。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

そのように訂正いたします。

○野島 匠史（国際総合学類）

具体的に危険度が書かれていて良いと思えます。その上で、実際に起きてしまった事例を載せると説得力が上がるかと思えますが、そのような調査は行ったのでしょうか。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

そのような調査は行っていませんが、教育生活環境調査では、「走行中に滑った」地点の報告がありましたので、そちらを基に調査を行った形となります。

○桑原 侑（総合学域群）

先程の危険度の表示方法について、例えば「高中低」にした場合、「低」にしてしまうと直す必要がないという意見が出る可能性があるため、「かなり高い」という表示はそのまま用いてもよいかと思えます。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

そちらの意見も含めて改めて表現方法について吟味いたします。

○林 凜太郎（議長）

質疑が続いておりますので 19 時 52 分まで質疑応答を受け付けます。

○岡本 翔太（総合学域群）

一部の調査場所については、実際に起こる可能性のある事故について言及されているのですが、他の調査場所についても同様にした方がよいのではないのでしょうか。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

特別に事故の事例を取り上げなければ損傷の重大性が伝わりにくい場所には補足を加えています。例えば添付資料 P23002-03 における 7 番目の危険部については、溝の程度は軽微であるが、交通量が多いために想定される事故の事例を入れた形となります。

○澁谷 耕大（地球学類）

先程の回答の一部に、「そのように訂正いたします」という回答がありましたが、今回の審議については、改定前の資料で行うとの認識で宜しいのでしょうか。

また、改定後のものを審議する場合は内規に基づいて動議を出したうえで審議をする必要がある可能性があります、その点についてはどのように考えているのでしょうか。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

今、この資料において変えるべきについては危険度と、資料 P 23002-03 における 2 番目の危険部に写真を追加することかと思いますが、最終的はご指摘いただいた部分を訂正した上で副学長に提出をします、訂正されるということを含めた上で審議をすべきと考えています。

○澁谷 耕大（地球学類）

動議を出すわけではなく、承認後に本会議の動向を盛り込んだ修正の見込みがあるという解釈で審議をするという解釈で良いのでしょうか。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

そちらで問題ございません。

○林 凜太郎（議長）

質疑が続いていますので 19 時 57 分まで質疑を受け付けます。

○野島 匠史（国際総合学類）

資料の危険度についてですが、自転車および歩行者両者の視点から判断しているのでしょうか。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

いずれの視点からも判断をしています。

溝については自転車の方が事故につながる可能性が高いため自転車を重視していますが、歩行者も含まれていると認識して頂いて結構です。

○林 凜太郎（議長）

時間となりましたので質疑応答はこれまでといたします。

○林 凜太郎（議長）

表決の手続きについてお話しいたします。

先程澁谷さんより質問があった点については、今後、副学長に提出される場合には修正動議が必要になりますので、今後改正されることに対する採決と、現在出されている資料に対する採決を続けて行います。そちらに基づいた上で表決をお願いします。

電子投票を行います。学類等代表の方々は、本会議チャンネルに掲載した投票フォームから承認、保留、否認のいずれかを選択してください。

採決の手続きについては省略。

○林 凜太郎（議長）

表決は、動議に対して承認 51 票、保留 1 票、否認 1 票、
本議題に対して承認 46 票、保留 6 票、否認 1 票となりました。
よって、本議案は、付随する修正動議とあわせて承認されました。

○林 凜太郎（議長）

続きまして、議事 2「企画戦略特別委員会の設置」です。
江波戸 憧音さんからお願いします。

○江波戸 憧音（副議長）

企画戦略特別委員会の設置についてご説明させていただきます。

企画戦略特別委員会というものは去年から 1 年の期間をもって設立されていた特別委員会で、今年の 6 月をもって活動期間が停止します。しかし依然として企画戦略特別委員会が受け持っている問題や業務が解決しきれていないため、改めて設置しようと思います。

また、それに伴い企画戦略特別委員会で扱っていた業務やそのための基盤整理を行う部署が現在全代会に存在しないため、第一回本会議で私が申した通り、そのような業務を行う部署として設置する予定です。

以上の理由より、企画戦略特別委員会の設置を提案いたします。

○林 凜太郎（議長）

質疑応答の時間を取ります。

質疑を求める方は挙手をしてください。

○浅野 宏太（社会工学類）

昨年度の企画戦略特別委員会の設置目的や活動内容を具体的に教えていただきたいです。

○江波戸 憧音（副議長）

昨年は私自身が企画戦略特別委員会に在籍してはいなかったため詳しくはお答え出来ませんが、規約の改正に関する取り組みや、資料に書かれている様な長期的な問題の解決に取り組んでいました。

○浅野 宏太（社会工学類）

（幅広い活動内容を端的に）表現しにくいのは全代会構成員一同理解しているところで、すのでここでの質問はここまでと致します。新入生のメンバーは、活動内容が気になったら後ほど個人的に質問するようにお願いします。

○森 望（社会学類）

設置期間について質問させていただきます。設置期間の終了が2024年3月31日となっておりますが、活動内容として「新入生歓迎祭を取り扱う」旨が資料に書いています。

そうすると来年度の新入生歓迎祭が行われる頃には委員会が存在しないというちぐはぐな状況になります。

設置期間が今年度いっぱい理由と、活動内容の新入生歓迎祭がいつの新入生歓迎祭を指すのかを説明いただきたいです。

○江波戸 憧音（副議長）

新入生歓迎祭に関してですが、来年度の歓迎祭の実際の運営ではなく、運営体制の確立や問題解決など、事前準備についての活動を行いたいと考えています。業務の引き継ぎや代わりとなる組織の設立を今年度中に行う予定のため、設置期間は今年度いっぱいとしております。

○野島 匠史（国際総合学類）

設置期間に関してなのですが、なぜ期間を定めず恒久的な委員会としないのでしょうか。長期的な問題の解決や全代会全体の調整的な役割を果たすならなおさらで、目的に合わせて設置期間も長期的にするなどしてもよいのではないのでしょうか。

○江波戸 憧音（副議長）

設置期間を今年度いっぱいとしている理由としましては、「来年度以降、全代会をこの委員会がなくとも回る組織にしたい」という副議長としての目標があり、それを実現するからです。

○桑原 侑（総合学域群）

資料の中の委員会の名称に関して、「企画・戦略」となっている箇所と「企画戦略」となっている箇所がありますが、違いについてお教え下さい。

○江波戸 憧音（副議長）

「・」がついているものは昨年度の委員会の名称となっており、今年度は「・」をなくした名称としています。理由としては表記揺れへの対策となっており、未然に防止するため変更いたしました。

○高橋 蓮（人文学類）

「来年度以降はこの委員会がなくとも全代会を運営出来る様にする」という目標があると仰っていましたが、今年度のこの委員会の仕事としては、来年度にむけた業務の引き継ぎがメインになるといった解釈でよろしいのでしょうか。

○江波戸 憧音（副議長）

昨年度こちらの委員会でうけもっていた業務がまだ残っているのでそちらはこの委員会で行い、今後新しく発生する問題や業務に関しては他の常任委員会に引き継ぐ予定です。

○高橋 蓮（人文学類）

加えてもう一つ質問です。

昨年度の活動としてイベントやアクティビティを主に行っていらっしゃいましたが、これらは議案書に記述されている活動内容に沿っているのでしょうか。どのように関連しているかご説明いただきたいです。

○江波戸 憧音（副議長）

それらの活動は、記述されている「活動の活発化」に該当している内容となります。

○高橋 蓮（人文学類）

委員会の、というよりも委員会内の人間の活動の活発化といった解釈でよろしいでしょうか。

○江波戸 憧音（副議長）

委員会横断的ないしは長期的な問題の解決のための人員を集めるにあたり、補助出来る様にイベントの企画を行っております。

○林 凜太郎（議長）

質疑が続いているので、25分まで延長します。

○浅野 宏太（社会工学類）

企画戦略特別委員会の業務内容として「1年限りでこの委員会を解散し、それを可能とするため今後の活動を常任委員会に引き継げるようにする」という点がキーポイントだったと思われますので、その点をこの委員会の活動の一大柱として議案書に追記してほしいと強く望みます。

○林 凜太郎（議長）

動議の提出という形でよろしいでしょうか。

○浅野 宏太（社会工学類）

私は社会工学類の副議長なのでその権限はありません。要望を議事進行に反映するかどうかは議長に一任させていただきます。

○林 凜太郎（議長）

承知しました。動議として「企画戦略特別委員会の活動の目的へ『本委員会の活動内容の他の委員会への引き継ぎを強固なものとする』を追加する修正」の議論へ進むかを問います。全会一致の場合のみ承認とします。投票を行うので、賛成の方は挙手をお願いします。

○林 凜太郎（議長）

挙手をしていない方が見受けられますので、全会一致ではないと判断し、この動議は発議されないものとします。

○森 望（社会学類）

只今の動議についてです。再度クラス代表者会議議長として同じ内容の「企画戦略特別委員会の活動の目的へ『本委員会の活動内容の他の委員会への引き継ぎを強固なものとする』を追加する修正動議」を承認多数で認められる形で提出したいのですが、可能でしょうか。

○林 凜太郎（議長）

制度上問題ありません。投票を行います。同じく挙手投票をお願いします。

座長として出席しているクラス代表者会議議長からの動議の発議の試みは、過半数の賛成によって認可され、発議されます。

採決の手続きについては省略。

○林 凜太郎（議長）

賛成多数となりましたので、動議の発議を認めます。

他の質疑がございましたら、33分までによろしくお願いします。

○林 凜太郎（議長）

時間となりましたので質疑応答はこれまでといたします。

○林 凜太郎（議長）

表決の手続きについてお話しいたします。

まず、先の修正動議について挙手による採決を行います。学類等代表の方々は、承認、保留、否認のいずれかに挙手をお願いします。

採決の手続きについては省略。

○林 凜太郎（議長）

承認多数により動議は承認されました。

○林 凜太郎（議長）

続いて、議事の表決を行います。挙手による採決を行います。学類等代表の方々は、承認、保留、否認のいずれかに挙手をお願いします。

採決の手続きについては省略。

○林 凜太郎（議長）

表決は、承認 49 票、保留 2 票、否認 1 票となりました。

よって、本議案は付随する修正動議とあわせて承認されました。

○林 凜太郎（議長）

議事 3「令和 6 年度学園祭開催に関する要望について」です。

議題の説明を学内行事委員会からお願いします。

○竹之内 未来（学内行事委員会）

それでは、令和 6 年度学園祭開催に関する要望についての説明を、学内行事委員長の竹之内からいたします。

資料 P23004-00、P23004-01 をご覧ください。

00 は議案書です。議論すべき事項について説明をしています。来年度の学園祭の開催を学長と学生担当副学長に要請します。

01 は提出を予定している実際の要請です。11 月 2 日、3 日、4 日を開催日とし、11 月 5 日を片付け日として休講を要請します。なお、こちらに関しましては「学園祭に関する申合せ」に基づいて、11 月の第 1 日曜日の直後の月曜日が祝祭日となっているため、変則的な日程となっております。

皆さん審議のほど、よろしくお願いします。

○林 凜太郎（議長）

質疑応答に入ります。質疑は 19 時 39 分までとします。質疑を求める方は挙手をしてください。

以下、質疑の許可にまつわる手続きは省略。

○桑原 侑（総合学域群）

昨年の雙峰祭公式ホームページを参照すると、昨年度は開催日前日を準備日として休講としていたようですが、今回は準備のための休講措置を要望していないのは、前夜祭の開催日である土曜日間に準備が完了するからでしょうか。前夜祭前日の休講措置がないことで準備が間に合わなくなることも懸念しています。

○竹之内 未来（学内行事委員会）

昨年度も 11 月 3 日の前夜祭からの期間にのみ言及しており、準備につきましては学園祭実行委員会が夜間に準備を行っているという認識です。従って、大学に休講を要請する範囲ではないので記載がありません。

○林 凜太郎（議長）

質疑応答の時間を42分まで延長します。

○會澤 颯太（比較文化学類）

開催予定日が今年度のものと異なるように思います。

○竹之内 未来（学内行事委員会）

こちらはあくまで来年度のものなので今年度とは日付が異なります。ご承知おきください。

○林 凜太郎（議長）

時間となりましたので、質問はこれまでといたします。

○林 凜太郎（議長）

表決の手続きについてお話しします。

電子投票を行います。学類等代表の方々は、本会議チャンネルに掲載した投票フォームから承認、保留、否認のいずれかを選択してください。

○林 凜太郎（議長）

表決は、承認54票、保留0票、否認0票となりました。

よって、本議案は承認されました。

○林 凜太郎（議長）

議事4「新入生歓迎特別委員会の設置について」です。

議題の説明を沼田 航さんからお願いします。

○沼田 航（参考人）

議題「新入生歓迎特別委員会の設置」を提出しました沼田 航です。全代会は新入生歓迎特別委員会という委員会を毎年設置しておりますが、昨年度の委員会の設置期間が終了しておりますので、再度の設置を提案しています。

本委員会の活動内容は、新入生歓迎団体の活動支援と、宿舎への新規入居者の支援となります。

設置の期間について、例年は1年単位での設置としていましたが、手続きを省力化する観点からも今回は無期限の設置をお願いしています。

○林 凜太郎（議長）

質疑応答に入ります。質疑は19時49分までとします。質疑を求める方は挙手をしてください。

○林 凜太郎（議長）

時間となりましたので、質問はこれまでといたします。

○林 凜太郎（議長）

表決の手続きについてお話しします。

挙手による採決を行います。学類等代表の方々は、承認、保留、否認のいずれかに挙手をお願いします。

○林 凜太郎（議長）

表決は、承認53票、保留0票、否認0票となりました。

よって、本議案は承認されました。

○林 凜太郎（議長）

諸連絡に移ります。はじめに、各委員長から委員会活動の報告をしていただきます。

○川島 淳一郎（総務委員会）

Wi-Fi等のパスワードを決定しました。変更後のパスワードについては各委員会の委員長へ聞くようにしてください。

教育環境委員会と全代会室の掃除を行いますので、物が動く可能性があるため重要なものは移動しておいてください。

短報について総務委員会で作成し、迅速にHPに掲載いたします。

○澁谷 耕大（総務委員会）

パスワードが変わりますので、接続的が出来ない等の問題がありましたら情報部門の方へ問合せをお願いします。

○竹之内 未来（学内行事委員会）

学内行事委員会では学園祭実行委員会の1次実行計画書並びに予算書の校閲をしております。7月24日の学生生活課会議に提出できるように準備を致します。

また、7月の初旬に学生組織連絡会を開催いたしますので参加希望の方は竹之内までお知らせください。

○亀井 健多（教育環境委員会）

開設授業科目一覧に関するアンケートにご協力ありがとうございました。
十分な量が集まりましたので学長懇談会に議題へと提出し、今後は副学長と共に審議を行います。

今後は教育生活こちらの回答について対応をしていくと共に、7月7日に総合学域群に関する調査についての準備を行う予定です。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

学長懇談会にて熱中症に関する議題を扱いましたので、まずこちらについて今後議論を進めていきます。

また、ゴミ出しに関する調査を行いたいと考えているため、アンケート作成を調査委員会にお願いをしているところです。

自転車の混雑緩和のため、迂回路の紹介を行う等の活動を行う予定です。
また、現在第三エリア丸善では短縮営業をしているため、営業時間を元に戻すことが出来ないかという点について審議を行います。

○會澤 颯太（調査委員会）

図書館の利用時間に関する調査に関する業務を行いました。

またゴミ出しの件についても調査委員会にて準備を進めてまいります。

来週、活動はありませんが、有志のメンバーと共に冷房に関するアンケートを作成する予定です。

○篠崎 健太（広報委員会）

Campus について宿舎祭特別号を作成しました。現在は 230 号を作成しております。

他の委員会等より依頼されているものの業務として、学生生活課よりいただいている節電に関するポスターの作成、教育生活環境調査に関する広報物の作成、国際特別委員会よりいただいているサークル紹介に関する広報物の作成、の以上3点を今後行っていく予定です。

詳細については、広報委員会の問合せチャンネルを参照ください。

SNS については学長懇談会の報告並びに翻訳の宣伝を行いました。

○林 凜太郎（議長）

本日はこれにて散会します。

散会

以上、総務委員会 鎌刈、河野、浅野 作成